

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１４～２０℃台を示し、やや低めから平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが１日１統当たり２８トンの水揚げで、前週の１．７倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシが１日１統当たり５トンの水揚げで、前週の６３％（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが１日１統当たり２３トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、１日１統当たり５８kgの水揚げで、前週の５６％（前年並み）。壱岐勝本地区では、１日当たり３．３トンの水揚げで、前週の６倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、１日１統当たり１２kgの水揚げで、前週の１．２倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり５３２kgの水揚げで、前週の１．７倍（前年並み）。五島奈留地区では、１日１統当たり１６kgの水揚げで、前週の７３％（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが１日１統当たり８６４kgの水揚げ。対馬西岸地区では、メジナなどが１日１統当たり３９kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが１日１統当たり１９５kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが１日当たり３０２kgの水揚げで、前週の２．９倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（４／２４～４／３０の７日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、隠岐諸島～島根半島沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船） 入港船なし。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>